

## 第6回二戸市総合計画審議会 議事録(要旨)

1 日 時：平成28年1月18日(月) 午後3時00分～午後4時10分

2 場 所：二戸パークホテル

### 3 出席者(敬称略)

#### (1) 委 員

阿部 悦子、安保 公一、五日市 真一、遠藤 享、小野寺 幸司、久慈 浩、黒澤 克子、柴田 清克、下館 光弘、平 裕一、永井 尚子、長葭 常紀、浪岡 正行、成島 英史、馬淵 貴尋、三角 壮一

#### (2) 市 側

市長 藤原 淳、副市長 戸館 弘幸、教育長 鳩岡 矩雄、総合政策部長 大沢 治、総務部長 田中館 淳一、市民生活部長 佐々木 建一、健康福祉部長 阿部 満男、建設整備部長 山下 謙二、浄法寺総合支所長 三浦 幸治、教育部長 樋口 敬造

#### (3) 事務局

副部長兼政策推進課長 石村 一洋、政策推進課 副主幹 泉山 茂利樹、主任 藤原 悠治、総務課 主任 向井 隆

### 4 会議の概要

#### 1) 開 会

#### 2) 市長あいさつ

大雪警報が出た中お集まりいただき御礼申し上げます。

本日が第6回総合計画審議会ということで、思えば3月15日に昨年の公募が始まり、第1回目の審議会が7月3日であり、それから長い間、6回の会議を重ねていただいた。

ご存知のように人口減少、あるいは少子高齢化ということで、今まで経験したことのない大きな課題の中で、次の5年間、10年間でどうすればいいのかというのが今回の計画の趣旨であった。

今回新しく取り入れて試みたのが、30年先を見た二戸市はどうなっていればいいのかという風なものを皆さんからお聞きし、また、審議会を開く前にワークショップ、あるいは、各種団体の皆さんのご意見をいただいてからこの審議会に望んだというのも新しい試みだったなという風に感じている。

前回も、内容的にはいいが、キャッチフレーズ的にはどうなのか、あるいは、字句の修正はどうかという風なことで、もう1回開いてそれを決めていただきましょうという会長の意見もあって今回開催させていただいた。

内容を見ると、ある程度総花的にはなっているが、人口減少、あるいは少子高齢化に向けて二戸市が何を取り組んでいかなければならないのか、産業においては、例えばこういう風なものをやっていく、漆についてももっとやっていかなければならない、交流に向けては観光、内部の交流についてもお互いに情報交換しながら作っていかなければならない。

市民協働と今まで言ってきたわけだが、今回は共創という新しい言葉を使わせてもらった。

これらについては、市民の皆さんと一緒に一から創り直していこう、新たに創っていこうという意味を込めてこのような言葉を使っている。

本日は、諮問に対する答申もいただければと思っているので最後になると思うが皆さんのご忌憚のない意見をお聞かせいただきたい。

### 3) 議 事

○会長

皆さん新年明けましておめでとうございます。

これまで開催した5回の審議会ではいろいろとお世話になった。

本日は6回目の審議会になる。これまで、委員の皆さんと議論を重ねてきたが、本日が最後ということになるので、よろしくお願ひ申し上げたい。

本日の審議は、5時までということを進める予定であったが、先ほど市長からもお話があったように大雪警報が出ている最中であるので、できればピシッと手短な意見を出していただくようお願いし、少しでも早く皆さんを解放させてあげたいと思っているのでよろしくお願ひしたい。

それでは議事に入る。

議事1 第2次二戸市総合計画、基本構想案及び前期基本計画案の答申についてであるが、事務局から前回の意見等を踏まえて修正した案の説明をお願いする。

#### (1) 第2次二戸市総合計画・基本構想(案)及び前期基本計画(案)について(答申)

【資料の説明(石村課長が内容説明)】

○会長

事務局から5回に渡って話し合い、修正した計画案等の説明があった。

委員の皆さんからご意見、ご質問があればお願ひしたい。

○委員

今日は日本カーリング協会の正式ブレザーを着用してきた。

前回では最後に意見を述べさせていただき、カーリング場の今後について皆様から批判的な発言が無かったことで大変安堵していたが、今回また継続してカーリング場という言葉がここに載っていることに日本カーリング協会を代表して感謝申し上げる。

先日、神奈川県相模原市にスケートリンクの視察に行ってきた。実は日本カーリング協会の日本選手権大会の会場地として視察したものであるが、相模原市の職員の方々から非常に真剣に揉んでいただいて、シティセールスのためにもぜひ開催したいという言葉をいただいた。

残念ながら、施設が老朽化していること、それから必要な設備が整っていないことから実現には至らなかったが、あの30万都市、相模原市で行えなかったようなことが当市で行う可能性があるということでもある。

また、相模原市は人工衛星のJAXAの施設があるところでもある。そういった文化的な都市で体育施設にも強みはあるが、その中でも持つことができないのがカーリング場である。

ということで、これは日本の中でも注目を浴びる施設になると思う。そういったものをこういう計画に盛り込んでいただいたことに対して感謝申し上げるし、この切り口から今回の計画案が非常に真剣に揉まれたもので考えられたもの、そして、市民のため、シティセールスのためにも非常に有効なものがちりばめられていると判断した。

作成していただいた皆様に感謝申し上げるとともに、このような計画を立てていただいた以上は一市民として大いに協力して30年後住んで良かったというまちにしたいという風に決意した。

○会長

その他なければ、先ほど市長から私に提案があって、総合計画案の16ページ、市長自身が一番大事にしているのが未来を担う子ども達の育成、この項目を人づくりの一番上に持ってきて欲しいという要望があったのでこのように皆さんからご理解を得たいと思うがよろしいか。

(異議なし)

事務局そのように修正をお願いする。

それでは、これまで委員の皆さんにいただいた意見も十分反映されているのでこの計画案のとおり答申することよろしいか。

もしなかったら異議なしの声で拍手をお願いしたい。

(拍手)

ありがとうございます。

事務局は答申書の用意をお願いする。

それでは、答申書を読み上げる。

平成28年1月18日、二戸市長 藤原 淳 様、二戸市総合計画審議会 会長 久慈 浩。

第2次二戸市総合計画について(答申)

平成27年11月24日付け政第74号をもって当審議会に諮問のありました第2次二戸市総合計画基本構想及び前期基本計画の基本的事項について慎重に審議をした結果、別冊のとおり取りまとめましたので答申します。

○市長

ありがとうございました。

○会長

答申書は皆さんにも配布しているのでお目通しいただきたい。

なお、基本的事項についての答申ということであるので、今後計画書を製本する段階で誤字、脱字等の軽微な修正が発生した場合については私に一任ということをお願いしたいが、よろしいか。

(異議なし)

○政策推進課長

ただいま答申をいただいた。本当に大変長い間御礼申し上げます。

今答申をいただいた計画案については、来る21日に開催される臨時市議会へ議案として提案させていただくのでよろしくお願ひしたい。

○会長

それでは議事(2)、二戸市人口ビジョン案、総合戦略案について、事務局から説明をお願いする。

## (2) 二戸市人口ビジョン(案)及び総合戦略(案)について

【資料の説明(石村課長が内容説明)】

○久慈会長

事務局から説明があった。

委員の皆さんからご意見、ご質問があればお願ひしたい。

○委員

読ませてもらったが、私たちが意見を申し上げても、計画を作った人間には自分の思いもあって作っているし、副市長さんとか市長さんに見ていただいているということもあって、私たちがお話しした、あるいはパブリックコメントで出てきたものが直していただけていないところ、あるいは生かし

ていただいていないところも私からは見られた。

ここまで作っていただいて、これからは実施の部分で予算措置とか、必要によっては実施計画のような物を作っていられると思うのでぜひその辺のところ委ねるので頑張ってやっていただきたいと思う。

○会長

他に今までこれを言っておけばよかったというような事があれば遠慮なくお願いしたい。

○委員

21日に総合計画案を議会でお話されるということだったが、こちらもその時に一緒に話されるのか。

○政策推進長

議会で議案として議決をもらうものは総合計画だけになる。

ただ、関連があるということで、これまでも議会の方には総合計画と併せて人口ビジョン、総合戦略も説明してきたので人口ビジョンと総合戦略は決定次第議員の皆様へ配布するという形にしたいと考えている。

○委員

資料の内容から見ると、もしかしたらこっちの方が総合計画のベースになる部分も多少あるのかなと思ったのでお話をさせていただいた。

○会長

ご意見として承っておく。

その他になれば人口ビジョン、総合戦略については、この案で了承するという事によろしいか。皆さんから願っていた。

御礼申し上げる。

人口問題については、皆さんから色々なご意見を賜った。市としてもこのような意見を取り入れながら魅力的なまちづくりを進めていただきたいと思う。

どうぞ市長よろしくをお願いしたい。

それでは、議事の(3)その他であるが、事務局から何かあるか。

○政策推進課長

特になし旨説明

○会長

特になしということなので、最後に私から御礼のご挨拶を申し上げたい。

第1回審議会を昨年7月に開催して以来、今回の第6回審議会まで委員の皆様には、大変お世話になった。

また、審議会の進行にご協力いただいたことに感謝を申し上げたい。

本当にどうもありがとうございました。心からお礼申し上げます。

○事務局

ここで市長から皆様に御礼を申し上げます。

## ○市長

会長さんをはじめ、各委員の皆様には長期間に渡りありがとうございました。

この計画については、先ほど事務局も申し上げたとおり人口減少が進む中で30年後の姿をどう描くか、それから、この10年間でどういう風な方針を持って施策に取り組むかというものがこの計画に基づいて進められることになる。

今回は、前期計画5年間も示されたが、この下にアクションプラン、実際に何を具体的にやっていくのかという風な計画が次々に出てくる。

したがって、先ほど委員さんから色々な意見が出たが、これが含まれている、含まれていないというのは具体的には出ていないが、計画の中で、アクションプランの中で具体的に進めて参るという風になる。

ただ、この計画を進める段階においては、私どもは今までとは違った視点で事業を進めなければならないと考えている。

1つは、人口減少が進む中で5年後、10年後、その計画を進めた時、果たしてそれが成果が現れているのかという風なこととか、あるいは、人口減少によって、一番最初に皆さんにご説明したが、予算が縮小してくる、その時というのは今までどおりのお金につかない中でどのように進めていけばいいのか。

こういう風なことを頭に入れながら進めていかなければならないというのが、これまでの計画と違った観点かなと思っている。

また、多くの委員の皆さん、多くの市民の皆さんから巻き込みながらというか、一緒になって計画を進めていかなければとてもでないが役所だけではどうにもならないというのが重々分かっているので市民協働から共創という言葉を使って、今後、これらに基づきながら進めて参りたいと考えている。

ある程度皆さんからご意見を伺い、ハードについてはこれと、これと、これという風なものが大きく示されているし、また、ソフトについてもこの点を重点的に進めるということが示されているので一つの事業をやりながら他の事業の課題も解決していくという風なものがますます求められてくる。

例えば、岩谷橋1本を架け替えることについても、両側のまちづくりを考えなければならないし、また、市民の健康等も考えながら、九戸城の散策とか様々な分野の中で岩谷橋の架け替えを起点としながら広く考えていかなければならないと考えている。

今後とも皆さんのご意見等をいただきながら進めて参るのでよろしくお願ひしたい。

長い間ありがとうございました。

会長さんもうありがとうございました。

## ○事務局

委員の皆様には長い期間に渡ってご意見等いただきありがとうございました。

以上を持って、第6回総合計画審議会を終了させていただく。

## 4) 閉会